

# 「戦略的な特許出願の実務」

## ＜化学分野②中間手続編＞

特許審査における拒絶理由通知等に対する対応では、いうまでもなく拒絶理由を解消して特許査定を得ることが大切ですが、さらに踏み込んで、特許後に起こり得る権利行使や無効審判も視野に入れた戦略的な構想をもつことが最も重要なポイントになります。また、化学・バイオ分野の中間対応においては、実験データ等の作成の要否など他の技術分野とは異なる点もあるため、それらの点を知っておくことも重要であります。

そこで、本講座においては、中間手続の基本テクニックから、化学・バイオ分野に特有の応用テクニックまで、実務上おさえておくべき重要ポイントについて裁判例等を取り上げながらわかりやすく解説いたします。

また同時に、演習課題として過去の典型的な事件を再現した拒絶理由通知を配布し、それに対して各自で意見書等を起案・提出していただいた上で講評・解説も行いますので、体験を通じて中間対応の実務を習得していただくこともできます。

皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【主催】 一般社団法人大阪発明協会

【協力】 近畿知財戦略本部

【開催日】 平成25年10月17日（水）10:00～17:00

【開催場所】 大阪大学中之島センター 7階講義室702

大阪市北区中之島4-3-53 06-6444-2100

【講師】 田中 順也 氏（レクシア特許法律事務所 パートナ-弁理士）

【定員】 30名（定員になり次第締め切ります。）

【参加料】 会員13,000円（一般20,000円）（テキスト代含、消費税込）

※ 2名以上お申込みの場合、2人目から50%引き（大阪発明協会法人会員のみ）

② (1) 3日以内のキャンセルの場合、受講料はお返しできませんので予めご了承下さい。

(2) 聴講券、納品書又は請求書は、講座開催日の10日前頃に郵送いたします。

(3) 他府県発明協会会員でも会員料金で受講できます。

(4) 受講者への課題は9月26日（木）にE-mailにて発送いたします。課題提出締切日は10月10日（木）です。詳細は課題発送時にご連絡いたします。

【プログラム（案）】

1. 特許審査・審判及び知財高裁の現状
2. 拒絶理由通知について
3. 拒絶理由通知の対応（基本編）
4. 拒絶理由通知の対応（応用編：ケーススタディ含む）
5. 事前課題解説

切り取り線

大阪発明協会 企画サービスグループ行き		FAX 06-6479-3930	
<h2 style="margin: 0;">中級～上級向け 知的財産セミナー</h2> <h3 style="margin: 0;">申込書</h3>			
2013年10月17日開催 「戦略的な特許出願の実務<化学分野②中間手続編>」			
申込日 平成 年 月 日			
会社名 又は氏名		部署名及び 連絡担当者	
ご住所 〒			
TEL		FAX	
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail	ご専門（例）電気機械		
受講者氏名		所属部署名	実務経験年数
e-mail	ご専門（例）電気機械		
※お申し込み者宛に、国の説明会、講座・セミナーほかの情報をご案内させていただく場合があります。なお、案内などを希望されない場合は、当協会へお申し付けください。 ※許可なくして講義内容を録音することを固く禁じます。			

お支払方法（予納金・現金・銀行振込・郵便振替）

1. 請求書（要 不要）

振込先銀行 三井住友銀行 大阪本店営業部 普通預金 7900182  
 三菱東京UFJ銀行 中之島支店 普通預金 0042472  
 郵便振替口座 00940-7-312572

2. 予納金処理の方 得意先コード

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

会員・非会員の区別（法人会員・個人会員  発明協会・一般）